

2005年7月9日  
愛知万博スペインパビリオン

## スペインパビリオン

### 『EXPOサラゴサ2008週間』開催へ

愛知万博スペインパビリオンでは、『EXPOサラゴサ2008週間』を7月11日(月)から7月17日(日)まで開催します。パビリオンの中央広場であるプラザでアラゴン、EXPOサラゴサ2008の紹介映像を上映する他、以下の通り、各種イベントを行います。

#### 記

##### <7月11日(月) アラゴンデー >

12:30	13:00	カランダ太鼓公演 ( スペインパビリオン前にて)
13:00	13:15	ダンス公演
16:30	17:00	カランダ太鼓公演
17:00	18:00	アラゴンのお水配布
18:00	18:30	カランダ太鼓公演

##### <7月12日(火) 13日(水) >

12:00	13:00	アラゴンのお水配布
13:00	13:15	ダンス公演
17:00	18:00	アラゴンのお水配布

##### <7月14日(木) >

12:00	13:00	アラゴンのお水配布
13:00	13:15	ダンス公演
17:00	18:00	アラゴンのお水配布
19:10	19:25	ダンス公演

##### <7月15日(金) 17日(日) >

12:00	13:00	アラゴンのお水配布
17:00	18:00	アラゴンのお水配布

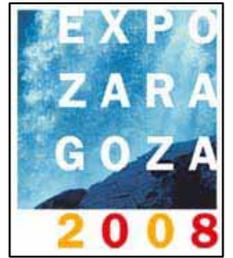
以上

#### アラゴンのお水について

アラゴン州の州都であるサラゴサでは2008年に「水と持続可能は開発」をテーマに万国博覧会が開かれます。広大な乾燥地帯と長期間の旱魃期を抱える内陸に位置するアラゴンでは水の文化のため地域全体として取り組んでいます。スペインパビリオンではアラゴン州から届いたおいしい水をペットボトルにして配布いたします。

## EXPO サラゴサ 2008 について

2004 年 BIE (国際博覧会事務局) 第 136 回総会において、サラゴサが、2008 年に行われる万博の開催地として決定、テーマは「水と持続可能な開発」です。アラゴンの州都であるサラゴサは、BIE が新たに定めた最高面積 25 ヘクタール、期間は最長 3 ヶ月、明確なテーマの提示、そして万博機構によるパビリオン建設という規則が適用される、初めての都市になります。会場予定地は、エプロ川のほとり、エル・メアンドロ・デ・ラニージャス。万博に向け、この地域では、「第 3 千年期の橋」やラバルの環状道路、エプロ川岸プランなど、新たにインフラが整えられる予定となっています。



## ゴヤの作品展示

プラザにてゴヤの版画「夢みれば理性から怪物が生まれる」を展示いたします。ゴヤは 1746 年アラゴンに生まれたスペインを代表する画家の 1 人です。肖像画、戦争の様子、日常生活などスペインの生活をあらゆる角度から描いています。

## カランダ太鼓について

アラゴン州カランダの太鼓の演奏をお楽しみいただけます。イースター(キリスト復活祭)、一日 24 時間絶えることなく、この太鼓の音色がカランダの町中に響き渡ります。重厚な太鼓の演奏はカランダの土地柄・人々の頑強さ・力強さの象徴とも言えるでしょう。

## ダンス公演:ミゲル・アンヘル・ベルナについて

ミゲル・アンヘル・ベルナは、既成概念にとらわれない自由な発想で、伝統的なスペインのダンスに新風を吹き込んでいます。アラゴン州に伝わる民族舞踊「ホタ」。常に涙と笑いを同時に表現するといわれるこの「ホタ」を元に新鮮な演出でまったく新しいスペインダンスを創造しています。

## アラゴン州について

スペイン北東部に位置し、大陸性気候で冬寒く夏暑いところです。ピレネー山脈にはスキー場と、動植物が観賞できる「オルデサ国立公園」があります。エプロ川のほとりにたたずむ州都サラゴサは、ローマ、アラブ時代に重要な役割を果たし、2008 年には万国博覧会開催も予定されるなど現在もスペインの主要な町のひとつとなっています。

